



がくしゅうもくひょう
【学習目標】

- 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになる。
- 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。
- 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。

がくしゅうすす
【学習を進めるにあたって】

しやうきやうざい 使用教材		
きやうかしよ 教科書	こくごご 「国語五」	(みつむらとしよ 光村図書)
	しやうがくしよしゃごねん 「小学書写五年」	(ほんぶんきやうしゆつばん 日本文教出版)
ふくきやうざい 副教材	かんじ 漢字ドリル・漢字ドリルノート	(めいじとしよ 明治図書)
	よむYOMUワークシート	(よみうりしんぶんしゃ 読売新聞社)

ももの 持ち物		
きやうかしよ 教科書	ノート	かんじ 漢字ドリル
かんじ 漢字ドリルノート	こくごじてん 国語辞典	かんじじてん 漢字辞典

がくしゅうやくそく
【学習の約束】

- 前日までに学習内容を読み、疑問に思うことに印をしたり、わからない言葉を調べる等予習をしてみましょう。
- 授業では、板書・気づいたこと等をノートに工夫して書きましょう。
- 積極的に発表して、考えを伝え合いましょ。
- ノートやプリントなどの提出期限を守りましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。

しゅうじどうぐ
習字道具

ふでばこ したじ
筆箱 下敷き タブレット

せき
○席をはなれる時は、いすをいれましょう。

がくしゅうないよう
【学習内容】(☆は書写)

ぜんき 前期	こうき 後期
<p>○銀色の裏地 ☆用具の準備/用具のかたづけ</p> <p>○きいて、きいて、きいてみよう ☆書くときのしせい</p> <p>○見立てる/言葉の意味が分かること ☆筆の持ち方</p> <p>○日常を十七音で ☆タブレットを活用しよう</p> <p>○みんなが使いやすいデザイン ☆部分の組み立て方①</p> <p>○たずねびと ☆部分の組み立て方②</p> <p>○よりよい学校生活のために ☆書くときの速さ</p> <p>○固有種が教えてくれること</p>	<p>○自然環境を守るために ☆点画のつながりと字形</p> <p>○やなせたかし ☆筆順と字形</p> <p>○あなたは、どう考える ☆文字の大きさ(漢字と仮名)</p> <p>○創造力のスイッチを入れよう ☆用紙に合った文字の大きさ</p> <p>○もう一つの物語 ☆めざせ!新聞記者</p> <p>○「子ども未来科」で何をする ☆書きぞめ</p> <p>○大造じいさんとガン ☆五年生のまとめ①②</p> <p>☆六年生を送る会に向けて</p>

ひょうか かんてん ばめん ほうほう
【評価の観点および場面・方法】

ひょうか かんてん 評価の観点		ひょうか ばめん ほうほう 評価の場面・方法
技能 知識	習った漢字を正しく書く。	ノート 漢字ドリルノート 単元テスト ワークシート ノートのまとめ方
	言葉のきまりがわかる。	授業の様子 発言・発表 ノート スピーチ 単元テスト
	文字を丁寧に書く。	書写の作品(毛筆・硬筆) 単元テスト ワークシート ノート 漢字ドリル 漢字ドリルノート
思考 判断 表現	内容を正確に読み取る。	発言・発表 授業の様子 単元テスト(聞くテスト) ノートのまとめ方
	思いや考えが伝わるように音読する。	音読 音読テスト
	筋道をはっきりさせて話す。	ノートのまとめ方 ふりかえり ワークシート 単元テスト 発言・発表 授業の様子
	話し手の意図を考えながら聞く。	授業の様子 単元テスト(聞くテスト) ふりかえり
	自分の思いや考えを豊かに表現する。	授業の様子 発言・発表 作文 ノート ふりかえり

習く主 にし体 取りゆ的 組く学が	しゅたいてき こくご がくしゅう と く 主体的に国語の学習に取り組む。	はつげん はっぴょう じゅぎょう ようす 発言・発表 授業の様子 スピーチ 作文 ふりかえり ノートのまとめ方 じしゅ がくしゅう 自主学習
----------------------------	---	---